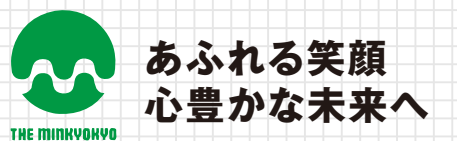


平成28年度

公益財団法人 民間放送教育協会

北海道・東北・関東・甲信越地区

研究協議会 **山梨大会**



**入場 無料**

大会テーマ 「ふるさとのチカラ」

大村智博士は成功と業績の理由を問われると、「そこには、ふるさとがあったから」と答えます。ふるさととは出生の地、育った地で、心の平穏さや純粋な楽しみがある土地で、そこに身を置く幸せを感じるからではないでしょうか。いま、ふるすとは少子化やローカル経済の低迷などにより消えようとしています。シナリオがない不安の時代には想像力が必要となります。ふるすとは歴史、伝統、文化、生活、風景、夢などが脈々と続き、未来を生き抜く知恵があります。

ふるすとはローカルであり、コミュニティであり、外国から見れば日本そのものです。インバウンドの急増に見られるように、世界のローカル“ふるさと日本”に注目が集まっています。ふるすとは目を覚ますとは、地域を見つめ直し、想像力から創造力へ、イメージをデザインすることによって、より真実のある時代を創ることです。

「山梨大会」では、大村博士の基調講演のほか、パネルディスカッションを開催いたします。「ふるさとが創造の源泉になる」、地域の良さを発見・発信するためのアイデアをパネリストからお聞きしたいと思います。

ふるさとが目覚めれば、真に豊かな地域や日本の姿が見えてくると確信しています。

**第一部 シンポジウム**

「ふるさとが目覚めます」

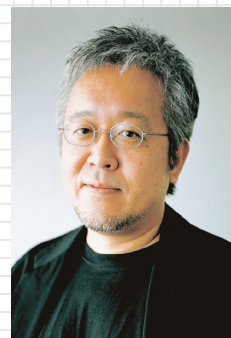
コーディネーター



鈴木 輝隆氏

江戸川大学社会学部現代社会学科特任教授。1949年名古屋生まれ。神戸市役所、山梨県庁、公益財団法人総合研究開発機構を経て江戸川大学教授に。地域の自立には歴史や伝統を軸に美意識のある「ローカルデザイン」が必要と考え、「ローカルデザイン研究会」を主宰。全国の地域とデザイナーを結び、価値を創造し経済を創出している。その活動が評価され、松屋銀座で「みつばち先生鈴木輝隆展」が開かれた。

パネリスト



原 研哉氏

デザイナー。1958年生まれ。デザインを社会に蓄えられた普遍的な知恵とセンス、コミュニケーションを軸とした多様なデザイン計画の立案と実践を行っている。日本デザインセンター代表。武蔵野美術大学教授。無印良品アートディレクション、代官山高層書店VI、HOUSE VISION、らくらくスマートフォン、ビエール・エルのパッケージなど活動の領域は多岐。一連の活動によって内外のデザイン賞を多数受賞。著書「デザインのデザイン」(岩波書店刊、サンデー学芸賞)「白」(中央公論新社刊)は多言語に翻訳されている。

パネリスト



松岡 市郎氏

1951年生まれ。1972年 東川町入庁。農林課長補佐、社会教育課長、税務課長を経て、2003年に退職。同年、東川町長に当選。現在4期目。「写真」「大雪山」「家具クラフト」の3つの文化資本の保存と活用を徹底して極め、東京にはない価値を創造し人口増加につなげた。写真甲子園や国際コンクールを実施し世界に写真の町として発信している。

パネリスト



三澤 茂計氏

1948年、旧勝沼町出身。東京工業大学応用化学科卒業後、商社勤務を経て1982年、中央葡萄酒入社。勝沼ワイナリークラブ初代事務局長、元山梨県ワイン酒造協同組合理事長を歴任。現在、良い食品作りの会評議員。また仏ブルゴーニュ シュヴァリエ・ド・タストファンにも就任し、EU輸出プロジェクト委員会の委員長も務めた。賞状褒章授受、山梨県功績者表彰受賞、東京工業大学同窓会蔵前工業会蔵前ベンチャー賞受賞。

**第二部 記念講演**

「ふるさとが人を育てる」～私の半生と山梨～



大村 智 博士

1935年、葦崎市生まれ。山梨大学学芸学部自然科学科卒業後、都立高校夜間部の教諭となり、勤めながら東京理科大学大学院理学研究科修士課程に進学し修了。山梨大学工学部発酵生産学助手を経て1965年、社団法人北里研究所(現学校法人北里研究所)に入所。北里大学薬学部教授、(社)北里研究所理事・所長を歴任し、現在、北里大学特別栄誉教授、米ウエスレーヤン大学マックス・ティシュラー教授、日本学士院会員。

山梨県では1995年に地元の科学の発展のために「山梨科学アカデミー」を設立し、2007年には生家近くに私費を投じ「葦崎大村美術館」を開館した。2013年に文化功労者、2015年に文化勲章を受賞。同年、山梨県出身者として初めてノーベル生理学・医学賞を受賞した。

とき **2016. 10. 1** 土

開場 12:30 開演 13:00

ところ **山梨県立図書館**

メイン会場 / 1F イベントスペース

サブ会場 / 2F 多目的スペース

当日は先着順でメイン会場(1F)からご案内致します。  
メイン会場が満席の場合にはサブ会場(2F スクリーン映像)にご案内致します。

● スケジュール

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会
- 13:10 **【第一部】シンポジウム「ふるさとが目覚めます」**
- 14:45 休憩
- 15:00 **【第二部】大村智博士講演「ふるさとが人を育てる」～私の半生と山梨～**
- 16:15 閉会

■ 民教協とは

放送を通じて教育の機会均等と振興に寄与することを目的として、昭和42年に文部科学省の認可を受けて設立されました。それぞれの地域を代表する全国34の民間放送局(テレビ33局+ラジオ1局)で組織され、既存のネット系列をこえて全国をカバーできる民放唯一のネットワークです。電波による生涯学習普及を目指し、「日本のチカラ」などの社会教育・教養番組を、加盟社の共同企画・制作によって全国放送しています。また、視聴者・行政・放送局の三者による研究協議会を始め、生涯学習に関する様々な活動を全国で展開しています。

**YBSテレビ YBSラジオ 特別番組を放送予定**

※当日、番組収録のためテレビカメラが入ります。

どなたでもご参加いただけます。お誘い合わせてご来場ください。

入場には聴講券が必要になります。

**[応募方法]** ●ハガキでの応募の場合 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、〒400-8525 甲府市北口2-6-10 山梨放送「民教協山梨大会」係まで。

●ホームページからの応募の場合

【応募締め切り】ハガキは8月22日(月)必着、webは8月22日(月)24:00まで

※応募者多数の場合は抽選を行い、当選者には9月上旬までに聴講券をお送りします。 ※ハガキ1枚につき1名のご応募とさせていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】申し込みいただいた皆さまの個人情報は山梨放送個人情報保護規定により目的のみ利用させていただきます。目的以外は一切利用しません。ご本人の承諾なく第三者に開示、提供することはありません。

【事務局】〒400-8525 山梨県甲府市北口2-6-10  
山梨放送 審議室内  
TEL 055-231-3226(平日午前9時～午後5時)